

授業者と学生の相互行為がもたらす教育効果Ⅱ

— 授業通信と電子掲示板の評価に、達成目標志向・コンピュータ不安が及ぼす影響 —

北神 慎司 ・ 藤田 哲也
(島根大学 法文学部) (法政大学 文学部)

藤田・北神(2005, 日教心, 前件発表)では、毎回の授業で発行していた授業通信は、電子掲示板への書込の有無にかかわらず肯定的に評価されている一方で、電子掲示板は全体として肯定的に評価されているとは言えず、さらに、書込行動が影響したのは「授業に関する質問」の掲示板への書込の有無のみであることが明らかになった。

本研究では、授業通信及び電子掲示板の受け止め方に、受講生の個人差である達成目標志向やコンピュータ不安が影響しているか否かを中心に、重回帰分析を用いて検討する。

【方法】

藤田・北神(2005)で述べた各指標を用いた。最終的に分析に用いた指標は次の通り。

- ・ 行動指標 「授業に関する掲示板書込回数」「その他の掲示板書込回数」
- ・ 達成目標 「初回遂行目標」「初回習得目標」「最終回遂行目標」「最終回習得目標」尺度得点。
- ・ コンピュータ不安 「初回C不安緊張」「初回C効力感」「初回C回避」「最終回C不安緊張」「最終回C効力感」「最終回C回避」尺度得点。
- ・ 相互行為ツール 「授業通信」「掲示板」得点。

【結果と考察】

各指標の平均値及びSDを表1に示す。

まず、それぞれの掲示板書込回数を従属変数、初回達成目標の2尺度、初回コンピュータ不安の2尺度を独立変数とする重回帰分析を行ったが、何も有意にならなかった。

次に授業通信得点を従属変数、初回達成目標の2尺度、初回コンピュータ不安の2尺度、掲示板書込回数2種類を独立変数とした重回帰分析の結果、有意な影響を持ったのは「初回習得目標」($\beta = .493$)と「初回C回避」($\beta = -.305$)のみであった。授業内容の習得に関心の高い者ほど、授業通信によって授業内容が補完されたり、授業者とコミュニケーションが取れるということを肯定的に評価した。また、コンピュータを自信を持って操作できない者ほど、授業通信を肯定的に捉えた。

掲示板得点について同様の重回帰分析を行ったところ、「その他掲示板への書込回数」($\beta = .347$)

のみが有意な影響を持った。掲示板を利用しない限り掲示板を肯定的に評価するはずがないのであるが、影響が有意なのは「授業に関する」方でなく「その他」の方であった。掲示板利用に関しては、授業内容の補足的な側面よりも、授業者との雑談によるコミュニケーションの機能を重視していたのかもしれない。予測に反して、掲示板の評価にはコンピュータ不安は何も影響しなかったし、達成目標の影響も見られなかった。

表1 各指標(カッコ内は可能得点範囲)の平均及びSD

	平均	SD
行動指標(掲示板書込回数)		
「授業に関する質問」	0.80	1.26
「その他の質問」	1.10	1.24
達成目標(6~1)		
初回遂行目標	2.77	0.94
初回習得目標	4.64	0.61
最終回遂行目標	2.37	0.83
最終回習得目標	4.13	0.79
コンピュータ不安(4~1)		
初回C不安緊張	2.15	0.74
初回C効力感	2.10	0.66
初回C回避	2.21	0.74
最終回C不安緊張	2.05	0.84
最終回C効力感	2.21	0.69
最終回C回避	2.21	0.79
相互行為ツール(6~1)		
授業通信	4.57	0.72
掲示板	3.20	1.04

【全体的考察】

今回のように授業通信と電子掲示板を併用し、また、それらの利用が成績に反映しない場合には、掲示板利用頻度は高くはならないことが確認された。さらに、学生は掲示板を、単に授業通信をWeb上に移行したものというよりは、質的に異なるものとして受け止めていることが示唆された。今後は全受講生が掲示板を利用する状況下での、掲示板の受け止め方について検討する必要がある。